

なかとんべつ 町議会だより

Volume

226

令和6年1月25日発行

中領別町20歳を祝う会



1月7日 20歳を祝う会

第4回定例会議決された議案等	3
私たちの一般質問	4
第5回臨時会結果、議員だより	8
いきいきふるさと常任委員会、全員協議会	9
議会の動き・編集後記	10



令和5年第4回定例会が、12月13日から3日間の会期で開催されました。

12月13日の招集日には、行政報告で小林町長から次の2点について報告がありました。

1. 特定環境保全公共下水道事業における財政融資資金地方資金貸付先普通実地監査の結果について
2. 中頓別町立歯科診療所に関する状況について

町長提出議案については、介護老人福祉施設の設置及び管理等に関する条例、水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例など、新規制定または、一部改正議案が12議案、令和5年度一般会計補正予算ほか6会計の補正予算を原案どおり可決しました。

議会運営委員会（宮崎委員長）発委による議会活性化に関する調査・研究を目的とした「議会改革特別委員会設置に関する決議案」が可決されました。

一般質問では、通告順に4議員（細谷議員、高橋議員、蓮尾議員、宮崎議員）が、本町が抱える諸問題について、町長に所見を質しました。

また、議会運営委員会及びいきいきふるさと常任委員会（長谷川委員長）から閉会中の継続調査申出を全会一致で決定し、会期を1日残して閉会しました。

第4回定例会で 決まりました



議決された議案等

○ 議案第60号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

地方自治法の一部改正により、条ずれが生じる関係条文を引用する条例について必要な整備を行うもの。

○ 議案第61号 中頓別町立歯科診療所の歯科医師の給与に関する条例の制定

令和6年1月1日より、町職員として中頓別町歯科診療所にて歯科医師を採用することから、歯科医師の給与を定めるもの。

○ 議案第62号 職員の特殊勤務手当に関する条例（一部改正）

令和6年1月1日より、町職員として中頓別町歯科診療所にて歯科医師を採用することから、特殊勤務手当（医務手当）を追加するもの。

○ 議案第63号 中頓別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例（一部改正）

会計年度任用職員に対して勤勉手当を支給することができるよう、勤勉手当に関する規定を追加する必要があることから改正するもの。

○ 議案第64号 中頓別町税条例（一部改正）

地方税法等の一部を改正する法律など令和5年3月31日に公布され、それに伴い改正するもの。

○ 議案第65号 中頓別町立自動車学校運営に関する条例（一部改正）

高校在学中の入校者が、最終の運転免許学科試験を受験する場合、その経費の一部を助成していましたが、宿泊料金が値上がりしている状況から助成額を改正するもの。

○ 議案第66号 中頓別町国民健康保険税条例（一部改正）

国による未就学児の均等割保険料の軽減制度を導入しているところ、更なる子育て世帯の負担軽減、次世代育成支援等の観点から改正するもの。

○ 議案第67号 中頓別町介護老人福祉施設の設置及び管理等に関する条例の制定

特別養護老人ホーム長寿園と養護老人ホーム長寿園を町に移管することにより、事業運営に関して、経営状況の改善や職員体制の見直しも含め、設置に関する条例を制定するもの。

○ 議案第68号 重要な公の施設並びに議会の議決に付すべき重要な公の施設の利用又は廃止に関する条例（一部改正）

特別養護老人ホーム及び養護老人ホームが町へ移管されることから、重要な公の施設に追加するもの。

○ 議案第69号 中頓別町水道事業の設置等に関する条例の制定

水道及び下水道事業特別会計の地方公営企業法適用をすることに伴い、制定するもの。

○ 議案第70号 中頓別町下水道事業の設置等に関する条例の制定

水道事業特別会計の地方公営企業法適用をすることに伴い、予算執行にあたり現金の確保が必要となることから制定するもの。

○ 議案第71号 中頓別町下水道事業特別会計基金の設置、管理及び処分に関する条例

○ 議案第72号 一般会計補正予算

○ 議案第73号 自動車学校事業特別会計補正予算

○ 議案第74号 国民健康保険事業特別会計補正予算

○ 議案第75号 国民健康保険病院事業会計補正予算

○ 議案第76号 水道事業特別会計補正予算

○ 議案第77号 下水道事業特別会計補正予算

○ 議案第78号 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算

※○は原案可決

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

携帯電話の不通地域の解消について

現代社会の生活環境は、昭和・平成・令和に移り変わるにつれて仕事環境や日常生活に携帯電話が必需品となっています。

しかしながら、本町の一部地域において携帯電話の圏外の場所が現在も存在しております。どこの地域でも携帯電話が繋がる地域を作る。これが地域の安全安心、あるいは活性化に繋がると思います。

そこで、町として携帯電話の不通地域の解消にどのように取り組んでおられるのか町長にお伺いします。

答 弁 ○小林町長

携帯電話の不感地域が町内においても存在

していることは認識しており、毎年度総務省

が実施する携帯電話のエリア化整備事業要望調査において、町として携帯電話事業者による整備の実施を要望しているところですが、

基地局施設の整備には多額の投資が必要になり、採算性の問題から事業の実施は難しい状況にあります。

また、町が主体となって実施する場合においても、インシヤルやランニングのコストを考慮すると具体的な取り組みが出来ないのが実態であります。

ご指摘のように交通事故や緊急時などで連絡ができないことは憂慮すべき問題であることから、今後も北海道や全国過疎地域連盟などの関係団体を通じて、不感地域の解消に向けた要望活動を引き続き実施してまいりたいと考えています。

高橋憲一 議員



質問

町政への住民参加について

第8期総合計画における住民参加のあり方を見ても、リーダー的役割は町外の委託業者であり、住民は単なるお客様の扱いに感じられません。

その結果、住民自らの問題として捉える機会の喪失につながり、ひいては、それが町政に対する住民の関心の低さにつながっているように思われます。いわゆる人任せの気風を行政自ら作り出していないか検証する必要があるように思いますが、いかがですか。

答 弁 ○小林町長

町の諸計画の策定や、事業実施に際して、町民の多大な協力をいただいております。

第8期総合計画では、若手職員をファシリテータとして養成し、町民一人一人がこれらの生き方をデザインし、実践できる未来の学びの場としてのワークショップを行ってききました。

総合計画策定に携わっていただいた町民メンバーのチームによる活動も随時、広報誌やSNSで発信しています。

質問

学校建設予算の増加に対する町の考え方について

中頓別学園の基本設計が進行中ですが、当初35億円と言われていた予算が現在45億円と言われています。

町として、まだ増加するとして、どの程度を限界と考えているのか。これ以上は無理だと言う限界があるように思うが、考えをお聞かせください。

答 弁 ○小林町長

当初35億円程度の事業費を想定していましたが、直近の試算では、45億円程度になることが見込まれており、この場合、国庫補助金などを除いた分、32億円を起債として借り入れることとなり、償還期限12年として単年度1億円が償還額になります。

令和4年度の実質収支は1億円を僅かに下回ったものの、直近5年間では1億5千万円程度となっています。したがって、この範囲が一つの目安になると考えています。

再質問

具体的な金額としては、どの程度が限界と考えているのか。

答 弁 ○小林町長

50億円程度に抑えたいと考えています。

蓮尾 純一 議員



質 問

中頓別町役場のDX推進の後は

政府よりDX（注1）の推進が示されているところですが、当町のDX推進について伺います。

現在、多くの町民は利便性が向上した等を感じられない状況です。より住民に近い病院の予約や広報別紙のPDF化など身近なサービスのDX推進を実現し、不便の解消をしていただきたい。

また、人材・スキル不足から組織として頼りがいように映る役場においてもAIの活用など、デジタル技術の導入を進めることで適正な事務作業を行い、町民の信頼を得ることができ

のではないのでしょうか。

答 弁 ○小林町長

住民サービス及び事務作業について、DX推進を現在行っております。若手職員を中心にDX推進に係るプロジェクトチームを立ち上げ取り組んでおります。今後は、チャットGPTの導入やAIを活用した業務の自動化についても検討を行っております。ご指摘の通り、より住民の皆様に近いサービスの利便性の向上を検討したいと思っております。

今後に向けましてDXに取り組み人的ミスや業務の軽減に向け改革を積極的に取り組みます。

質 問

長寿園の町営化の住民理解は

長寿園の町営化についてまだ正式に運営に係る試算が示されていない状況を鑑みても幅広い町民から意見を募る必要があると考えます。

福祉観点や雇用観点から町営化はやむを得ない側面もあるかと考えますが、一方で学園構想など町費負担が膨らむ中、赤字が見込まれる事業を町営にすることにに対し不安を感じる町民もいます。

事業の運営に対し、今後増加が見込まれる諸経費への対応についても透明さが拭えません。

入所者・職員・関係家族・町民に対し丁寧な説明を行う機会を求めます。

答 弁 ○小林町長

正式な試算等のシミュレーションは現在できておりません。町として現在持続可能な地域医療体制と地域包括ケアの一体的な見直しを進めているところであり、これに併せ長寿園も含め、財務を含めシミュレーションを行いたいと考えています。

地域との懇談会等でも説明してきましたが、あらためて町民の皆様にご意見を頂戴したいと考えております。



令和6年4月から町営化が予定されている長寿園

（注1）自治体DXとは、自治体がITやテクノロジーを活用して業務効率化や生産性向上をはかり、住民に対する行政サービスの維持と向上を目指す取り組み。

質問

学園構想アンケートの結果の意味
するところ

アンケートの回収結果が1割程度の回収と低調に終わり、町の見解に町民がまちづくりにとどのように参加するか戸惑う場面もあったのではないかとあったが、それこそ本事業の理解が進んでいない象徴ではないでしょうか。

アンケートの回収率を鑑みると町政への無関心を意味するもので、議員としても責任を感じますが、このまま本事業を進めるには事業の規模を鑑みてもより丁寧な説明が必要であると考えられるので更なる説明機会を求めます。また、本事業に失敗があった場合の責任の所在について求めます。

答 弁 ○相座教育長

少ない回収率ではありませんが、回答者の9割が本事業について知っていることからも徐々に計画が伝わっていると考えています。

今後も定期的にコミュニケーションを図り進捗状況や取り組みについてご理解いただけるようにしてまいります。

答 弁 ○小林町長

責任の所在については町長にあると考えています。

今後ご理解いただけるよう配慮してまいります。

宮崎 泰宗 議員



質問

相次ぐ不祥事への対応について

不祥事の公表が相次ぎ、町民は恥ずかしい思いをしている。

予算なき工事費については、一度否決され、後日専決処分として賛成多数により可決されたが、今でもこのことを深刻に受け止めている町の声は多い。本件に限らず行政ミスの再発防止を徹底していただきたい。

町国保病院での一件に関しても、その後の対応を問う声などもあると思う

が、盗聴盗撮の機器などはないか、町内公共施設等全体のトイレや更衣室等の調査、清掃のときなど、定期的な点検等が行われていることも、施設利用の安心につながると思うが、どのような状況か。

また、町国保病院では先日新型コロナウイルスによる2度目のクラスターが発生し、このときの院内感染によって介護医療院の入所者1名の尊い命が失われ、昨年病院で発生した1度目のクラスターの際にも、死者が確認されているが、感染対策についてはいかがか。

感染確認などの対策が徹底されているなら、面会制限の緩和やインフルエンザ等の予防接種、このような住民対応の日時拡大などに応えていくこともできるのではないか。

しっかりと町の声に耳を傾け、失った信頼の回復を行政全体で考えてみてはいかがか。

答 弁 ○小林町長

町にかかわる不祥事が相次いで発生したことに、あらためて町民の皆様にお詫びを申し上げます。

先日の臨時会では4件の職員の懲戒処分についても報告をさせていただきました。予算措置のない修繕工事を施工した件に関しては、複数での予算確認の徹底

などによって再発防止を図ることとして。職員の変更室における盗撮に関しては、許しがたい犯罪行為であり厳しい処分に対処した。今後の対策として、日常の施設管理や清掃を基本に取り組みでいきたい。主要な通学路や道の駅などには防犯カメラを設置し、犯罪の抑止に努めているが、役場や病院など、住民の皆様が使用する施設のほとんどは、職員も使用しているので、職員全体で日常的な点検等を行い、安心して使用いただけるように努めていく。

病院では昨年10月に続いて、今年も10月に2回目となるクラスターが発生し、最初は入院患者1名、この度は介護医療院利用者1名の方がお亡くなりになられ、最初に亡くなられた方については、感染症法上2類の取り扱い下ではあったが、ご家族の意向により公表を差し控えた。5月に2類から5類へ位置づけが変更されているが、現在も2類と同様の感染対策を継続し、発生時には抗原検査での感染確認、陽性者の隔離等の対応を実施している。

面会制限については、ご家族から「入院（入所）したらずっと会えなくなる」との厳しいご意見が多くあり、感染状況等を勘案しながらではあるが、個人用防護具の装着などの感染対策を行い、家族に限り事前に面会日を設定し、面会の一部緩和をしている。

答 弁 ○西村国保病院事務長

インフルエンザワクチンの接種受付について、昨年窓口が混雑してしまう状況があったことなどから、今年は午後から電話で申し込んでいただく形をとらせていただいている。

質 問

中頓別学園の建設費増大に歯止めを

8月に初めて実施された中頓別学園に関する全町向けアンケートは、全町約850戸に対して施設利用者などを除いた682世帯に配布され、回収されたのはわずかに61件で、回収率8.9%という非常に低調な結果になったと認識するところであるが、この61世帯から大変貴重な回答の中で40件ほどの具体的なご意見等が寄せられており、賛成的な意見で約20件、反対的、否定的、見直しを求めているような回答も同じく20件ほどと、予想に反して賛成的な意見は少なく、非常に拮抗した結果になったとの印象である。

これはやはり本町にとって非常識な45億円という建設費が大きな要因であると思われるが、町として当初限度とされていた35億円をすでに大きく上回っており、さらにその建設費は、今後

60億円規模に達するのではないかと、いうことまで囁かれていると聞く。

そこまで高額な建設費を伴う施設がこの町に必要なと思う町民は果たして何人いるのか。

最低限の施設を活かした中身の工夫による教育の充実を図り、これ以上の建設費の増大には歯止めをかける英断が求められているのではないかと。

答 弁 ○相座教育長

人生100年の学びの拠点・中頓別学園づくりに関する町民アンケートについて、貴重な61件の回答をいただき、そのうち、文章による提案、意見、疑問が38件あり、そのうち肯定意見が19件、提案や疑問意見が13件、否定意見が6件と整理している。特に提案や疑問については、別紙説明資料を全戸配布して、町民の皆様にもさらなるご理解をいただけるよう進めているところであるが、先の質問でも回答したとおり、これまでも実質400名を超える皆様からご意見をいただいていると認識しており、今後も理解を深めていただけたらと考えている。

老朽化した環境の改善が最も急がれている中学校だけを現在の場所で見替えた場合、工事費は3分の2程度に抑

えられると思うが、補助率が下がり、実際の町の負担は4分の1程度しか下がらないと考えられる。築30年を経過した小学校の改修、築45年となる町民センターでは傷みがひどく大改修が必要な状況であり、木造の給食センターも耐用年数を大きく経過して、これらの事業を分けて行えば負担を長期に分散することはできるが、最新の試算では72億円程度となることから、一体的な施設の整備が必要と考えている。

答 弁 ○小林町長

長く続いてきた円安などの影響による建設資材等の高騰が、今後の金融政策等によって緩和されることも期待したいところではあるが、現状としては45億円となった建設費のさらに2割増しとなる54億円という額も予測されるような状況である。

町としては、教育の充実という目的を大切にしつつも、建設費で50億円を超えることは避けたいと考えており、今後は最低でもそこまでには落とし込めるよう進めていきたい。



質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



老朽化が著しい中頓別中学校

第5回臨時会結果

令和5年第5回臨時会が11月27日招集され、承認1件、議案3件を承認及び原案どおり可決しました。

- 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算 令和5年10月2日専決）
- 議案第57号 職員給与条例（一部改正）
- 議案第58号 議会の議員報酬及び費用弁償並びにその支給に関する条例
- 議案第59号 一般会計補正予算



議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などにこころをこめて、思いを綴るものです。

『小さな町だからこそ』

一年の締め括りとなる12月定例会が閉会しました。

私は今回の一般質問で町の不祥事発生と学校建設費の増大に関することをテーマに議論させていただきました。今定例会においては新年度4月からの長寿園の町営化や議会改革特別委員会の設置などの動きもありました。来年度以降に控える大きな案件がいくつもあるわけですが、課題解決に期待を持てるような、気持ちの良い一年の締めと言えぬ状況でもないように思います。

それは、この年末年始にかけても、もう転出を決めている方が何人もいらつしやるということが、私には今以上に深刻なことに感じられるからです。

今はどこも人手不足と言われている中で、役場の人材不足も深刻を極めてしまっているのではないのでしょうか。若い職員の退職がこんなに重なることもなかったように思います。一般の方々も大きな打撃となっており、町の人口は、まもなく1,500人を下回るうとしています。

今この町は子育てや教育に力を入れ、医療や高齢者福祉、仕事、交通など皆さんの生活環境の持続に取り組んでいるはずなのに、こういった人を大切にすることを謳っている町なのに、こういったことを防ぎようのある、ただただもったいないと思うことばかりでした。中には学校建設の負担がより高額になりそうだとこのように触れている方もおり、子育てや職場、移動手段の少なさや福祉施設への入所など、今の環境や将来の生活に

対する不安などが理由としてあるようです。

誰もが町にとって大切な人であるのはもちろんですが、何年も経験を積んできた役場の若手であれば、それぞれに数千万円をかけて町民が育ててきた人財であるとも言えるわけですから、こういった視点においても非常に大きな損失です。

地元の方には見限られ、移住して長く家庭を築いてこられた方にも出ていかれ、子どもの数も減ってしまつて、最終的にこの町にはいったい誰が残るといえるのか。行政機関だけが町に残つても暮らしは成り立ちませんよ。

人口流出への対策を考えているのは行政自体が、自前で育ててきた貴重な職員を流失させながら、このもっとも重要な人口問題の議論を好転させることにはならないでしょう。

中頓別学園の設立ということにおいても、学校だけでなく、町民センターや図書館という生涯教育の機能も含まれる教育の複合施設でありながら、今回のアンケートの結果からも、もっとも重要であるはずの教育の中身への理解が一番弱いように思われます。高額すぎる建設費に対しては反対との意見がある中で、賛成意見の中にも他町村にあるような立派な建物が欲しい、そういう理由もあるぐらいですから。

いくら大きなことを掲げようと人口1,500人にも満たなくなる小さな町です。だからこそ一番身近な町民の皆さんお一人おひとりの声に寄り添えるはずなのに、
・ ・ ・と思うのです。

（綴人 宮崎 泰宗）

いきいきふるさと常任委員会報告 (11月27日)



いきいきふるさと常任委員会（長谷川克弘委員長）は、所管事務調査を実施し、第4回定例会（12月13日）に報告しました。

調査事項

- ① 老人ホーム長寿園の町移管について
- ② 水道事業及び下水道事業特別会計の企業会計移行について
- ③ 中頓別学園に対する町民アンケート結果について
- ④ 町内工事視察（こども園園庭）

審査意見

① 町移管するにあたり町民への周知を徹底し、健全な経営を常に模索することを求める。
また、既に移管済みのサービスの現状についても情報提供を求める。

② 企業会計を導入するメリットを最大活かし、住民サービス向上に役立つ仕組みを構築することを望む。

③ 中頓別学園の町民アンケートの回収率は議会としては低いと思われる。原因は様々な理由が考えられるが、現状では説明が不足していると考えるので、住民の関心を高める努力を引き続き望む。

また、既存施設の利活用についても早急に検討することを求める。

全員協議会 (11月6日)

(協議事項)

- ① 人事院勧告にかかる議員の期末手当の改正について
- ② 一般会計補正予算にかかる専決処分について
- ③ 中頓別学園アンケートについて

(前)村山議長 総務大臣表彰伝達式



令和5年10月19日 長年の議会議長としての功績を称え、星川議長より市町村議会議長総務大臣表彰の伝達を行いました。

議会の動き

10月

- 26日 中頓別町畜産総合施設獣魂参拝
28日 中頓別小学校学習発表会
猿払村開村百周年式典（猿払村）

11月

- 4日 中頓別町文化スポーツ表彰授賞式
中頓別町ふるさと札幌懇談会（札幌市）
11日 三好雅道議政経セミナー（豊富町）
22日 議会運営委員会
27日 第5回臨時会
いきいきふるさと常任委員会所管事務調査
28日 衆議院議員武部新先生との意見交換会
（東京都）
29日 第67回町村議会議長全国大会（東京都）

12月

- 1日 議会運営委員会
13日～14日 第4回定例会
15日 寿スキー場安全祈願祭
21日 南宗谷消防組合議会定例会（枝幸町）

令和6年1月

- 4日 新年交礼会
5日 南宗谷消防組合中頓別消防団出初式
7日 20歳を祝う会
10日 議会改革特別委員会
11日 議会広報編集特別委員会
18日 議会広報編集特別委員会
22日 宗谷町村議会議長会合同意見交換会（稚内市）
23日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）

編集後記

12月の定例会を終了して今年はきっと地球温暖化で、小雪の冬を迎えるのかと思った矢先、どっとこの下界に白い魔物が？白い天使だろうか？何はともあれ、おつりがくるほど舞い降りてきた。小さな町は完全に雪国と化し冬の生活が始まった。吹雪の雪路は大変だ。特に対向車が来るとこの北国特有のパウダースノーが白き悪魔に変わり、スムーズな進路を妨害する。やがて一番寒い1月に入り厳しい冬をじっと耐えて過ごすことが多い……

「冬来たりなば春遠からじ」とどこかの詩人の言葉を思い出します。もうちょっと、もうちょっとと待ちわびて過ごす。それが雪国と北国の人の冬を生き抜く忍耐強い生活の知恵だろうか？

……やがて寒いながらも、日差しを少しずつ長く感じるようになり、同時に注ぐほのかに暖かい熱が雪を少しずつ溶かし始める。

雪が解けていく音と、元気で明るい日差しが春の訪れを告げるまで……



議会広報編集特別委員会（西）



20歳の決意を述べる成人代表の北村小麦さん

用語解説

「定例会」（ていれいかい）

定期的に招集される議会の会議です。
中頓別町では3月、6月、9月、12月の年4回が決められています。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ
(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)
で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから

中頓別町について ⇒ 中頓別町議会

又は(行政情報) ⇒ (議会)へ進みご覧ください。
議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、TEL6-2244（議会事務局）へ。

発行 中頓別町議会／編集 議会広報編集特別委員会
〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通) / fax 6-1155